

みんなの インプラントブック



井上 歯科

井上 秀彦

● 私がインプラントを良いと思うわけ

私がインプラントを始めたのは平成3年ぐらいです。

その当時はまだセラミック・インプラントが中心でした。



今はインプラント体と骨が直接くっつく様になっていますが、

当時のインプラントは骨に直接付くことができませんでした。

そして、基本的には、天然の歯と連結するという型をとっていて

現在の様に単独で植えることはしませんでした。また、持ち方にも

問題があり、永年に亘り機能していく率はあまり高くありませんでした。

平成6・7年ぐらいからチタンインプラントが普及していき、それがまた改良されて今の型になっていきました。そしてその良さが実証されて来ました。

今ではブリッジにするよりもインプラントにした方が持つ確率が高くなり、

どう持たせるかというより、どの様に美しく作るか、

骨がない時、どの様にしたらよいかということが問題になっています。

虫歯・歯周病から歯を失った時、それをブリッジで補うと

負担が重くなったり、磨きにくくなり、その分の歯を失う確率が高くなります



そして今後、入れ歯になり、さらに歯に負担がかかり、
歯を失うという悪循環に陥りやすくなります。

それを断ち切る為には予防として

細菌を少なくする必要はもちろんありますが、

負担を少なくするということで

インプラントはとて有効です。



また歯を失ったままですと骨が痩せてきます。

しかし、そこにインプラントを入れると

歯があるのと同じように骨が減ることを防ぎます。

骨を守り、咬合（咬み合わせ）が崩壊することを防げるという点で

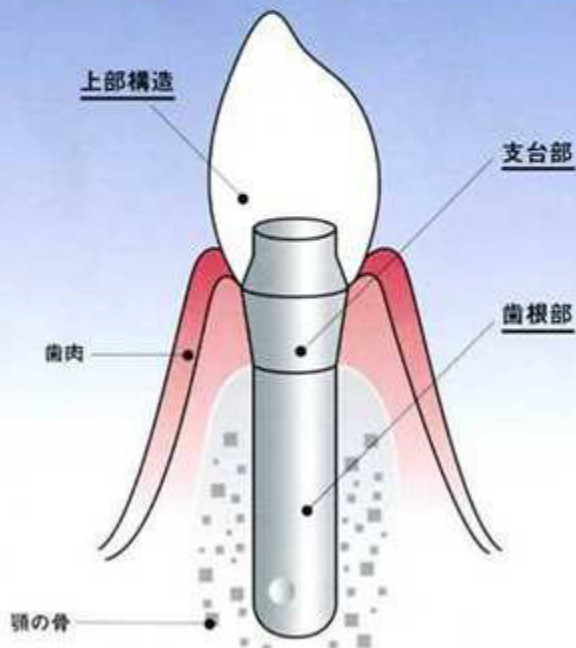
そしてそのことにより快適でしっかりと食べられ、しっかりとしゃべれる、
即ちいつまでも若々しくいられるという点で

私はインプラントをすばらしいものだと思っています。



インプラントの構造

インプラントは、顎の骨の中に埋め込む歯根部、歯の部分に相当する上部構造と、その間を連結する支台部のおよそ3つの部分から構成されています。



インプラント治療とは？

歯の抜けたところに人工の歯根（インプラント）を植え、顎の骨としっかりと固定させた後、その上に人工の歯を装着させたものです。これにより取り外しの入れ歯の不快感がなくなり、

天然歯と同等の力で咬むことが可能となる新しく画期的な治療法です。

インプラントの適応

- ・一番奥の歯が抜けていて、ブリッジができない。
- ・抜けている歯の数が多く、ブリッジでは支えきれない。

- ・ブリッジをするために健康な歯を削りたくない。
- ・審美的に入れ歯を使うのに抵抗がある。
- ・入れ歯の着脱がわずらわしい。
- ・入れ歯が気持悪くて装着できない。
- ・入れ歯が合わなくなった。
- ・交通事故の外傷などで歯を失ってしまった。

インプラントができない場合

- ・骨の量が少なくて、インプラントを入れる場所がない。
- ・全身的に手術が適さない。

1 レントゲンなどの十分な診査、説明

2 インプラント手術：チタン製の小さなネジのような形状の

インプラント局所麻酔で顎の骨の中に埋め込みます



ドリルで骨を削ります



インプラントを
埋め込みました



インプラントを入れる
ための穴ができました

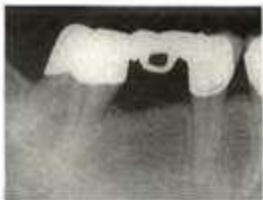
3 骨とインプラントがくっつくのを待つ。一般的に下顎6週間
上顎8週間ぐらいが多いですが状態により異なります。

4 インプラント体に台をつけ型をとります。技工所で
人工の被せるものを作り、インプラントの台につけます。
これでインプラント治療は一応終わりです。

5 装着したインプラントを長期にわたって機能させるために
治療終了後は定期的な検診とホームケアを心がけて下さい。



治療による比較

インプラント	ブリッジ	入れ歯
		
長 所 ● 固定式であるので違和感がい。 ● 治療のために隣在歯を削る必要がない。 ● 審美的な外観を回復できる。 ● 天然歯とほとんど同じ感覚で噛むことができる。 短 所 ● 治療期間が長くかかる。 ● 保険診療外である。 ● 高度の技術を必要とする。	長 所 ● 固定式であるので違和感がない。 ● 審美的な外観を回復できる。(金属式のものを除く) ● 比較的治療期間が短い。 短 所 ● 治療のために隣在歯を削る必要がある。 ● 土台とした歯の清掃がしづらくなったり、場合によっては過重負担のため、歯周病を招きやすい。	長 所 ● 治療のために隣在歯を削る必要がない。 ● 比較的治療期間が短い。 短 所 ● 人により違和感を生じやすい。 ● 審美的外観の回復が難しい。 ● 長期間経過すると歯肉がやせてくるので修理や作り替えの必要が生じる。

症例



【感想】

当院で見て頂く迄は右下奥歯を部分入れ歯にしておりましたが、入れたり外したり大変不便で不衛生でした。

このたび、インプラントにし本来の自分の歯の様な感じでした。

インプラントの技術の有無もありますが、部分入れ歯にする時インプラントにしておくべきだったと後悔しております。

これからは人との交わりの中で食事をしたり、話をしたり、歌ったり自由に口を動かすことができ、健康面、精神面でも大きな自信になります。本当に有難うございました。

入れ歯に抵抗があったので、思い切ってインプラントにしました。しばらくは不自由でしたが、すっきり口の中に収まってグラグラすることもなく固定され、自分の歯と同じようです。

インプラントにして5年も過ぎましたが、少しも違和感がなくて自分の歯のような感じで満足しています。

すっきりと食べやすくなりました。普通に噛んでよいとことで安心しました。

インプラントは新しい技術で骨の中に金属を埋め込んで支柱を入れると

頭に近いので骨に何か炎症が起きて、怖いと思っていましたが、

楽に切開していただき、お友達に聞くと以外と皆さんもされていまして、驚きました。入れていただいた使用感は自分の歯とほとんど変わりません。

先生、スタッフの皆様、ありがとうございました。

とても調子良く、美味しく食事ができることがなによりうれしいことでインプラントを申し込んだ後、一寸後悔の念（体力的）が起きましたが、無事終わった後は快適の一語です。もう少しはやくすればよかったと思っております。ありがとうございました。すっきりと食べやすくなりました。普通に噛んでよいとのことでした。

痛みもなく、スムーズに治療して頂きましてありがとうございました。

普段の生活でも非常に楽になりました。

入れて頂いて直ちに普通に食事ができて感激でした。

仮歯の間に少しガタガタして、前歯に物が当たらない様、頬の奥に押し込んで食事が大変でしたので。ありがとうございました。

入れて頂いて直ちに普通に食事ができて感激でした。

仮歯の間に少しガタガタして、前歯に物が当たらない様、頬の奥に押し込んで食事が大変でしたので。ありがとうございました。

Q & A

Q インプラントの手術は痛くないの？

A 手術中は麻酔が効いていれば痛いことはありません。

術後に切った上を触ると痛いかもしれませんが、一般的には痛むことはあまりありません。

Q 何歳までできるの？

A 骨の状態がよければ80才を超える人でも可能です。

Q 糖尿病などの病気があってもできるの？

A 病気の状態により、できない場合があります。

Q どれくらい持つの？

A インプラントは虫歯になることはありませんが、歯周病と

同じように汚れがあると骨がなくなっていくことがあります。

歯と同様にしっかりと手入れが必要です。

今ではブリッジよりも確率的に持つと言われています。

Q 日数はどれくらいかかるの？

A インプラントを植えて、下で6週、上で8週ぐらい待ち、型をとります。

その後1週間ぐらいでできます。

歯を抜いたところだと骨ができるまで4ヶ月ぐらい待ちます。

終わりに

インプラントは時間もかかり、費用もかかり、外科的な処置も必要です。でもそれにより健康な状態が長く続き、より快適で充実した生活が送れ、その価値はあると思います。

あなたも選択肢の一つとして考える価値はあると思います。



井上秀彦

2008年3月3日 初版発行〈押捺省略〉

「みんなのインプラントブック」 著者：井上秀彦

© Copyright 2008 by hidehiko Inoue. All Rights Reserved

定価：300円（消費税込み）

